

旧島原藩日記について

島原市の文化財について知りたい、郷土史について調べようと思う…等、調査に役立つ資料を紹介します。

☆蔵書検索機（OPAC）を使って調べる

島原図書館内の蔵書検索機（OPAC）で図書館所蔵資料を調べることができます。書名や件名の手がかりとなるキーワードを入力して検索すると、当該資料の情報が表示されます。

* 島原図書館WebOPAC

<http://shimabara-websv.shimabara-city-libraries.jp/opac/wopc/pc/pages/TopPage.jsp>

文化財/島原100年/島原の/学ぼう会/ありあけ/島原藩

など

☆概略を調べる

『島原市の文化財 今伝えたい島原の文化財』 （島原市教育委員会、2013年）島原/709.1/9/5-46	島原市に存在する国、県、市指定の有形文化財、無形文化財、天然記念物について時代別に掲載している。
『島原100年のまちづくり選定集 未来へ』 （島原市、2008年）島原/219/9/9-339	島原市の歴史・伝統・文化・自然・資源他全ての分野について紹介している。
『島原半嶋史』下巻 （長崎県南高来市教委、1954年）島原/219/11/9-28	松平忠房就封から明治維新（版籍奉還、諸制度改革、版籍奉還後の島原藩）について解説している。
『郷土史を学ぼう会資料集』 （島原図書館、2004,2006-2010,2014年）島原/210/9/9-163	郷土史研究家による郷土史講座の資料としてまとめられたものである。
『ありあけの歴史と風土』 （ありあけの歴史を語る会、2005年）島原/219.3/7/9	有明に伝わる、口頭伝承による郷土歴史、文化、伝統を調査研究し、定期的に冊子としてまとめたものである。

☆史料を探す

『島原藩日記』巻一（寛文・延宝） （島原市教育委員会 2008年）島原/219/7/9-293	島原藩の出来事、日々の暮らし及び近国の出来事、江戸幕府との関係を綴った日記である。
『島原藩日記』巻二（天和） （島原市教育委員会 2010年）島原/219/7/9-293	島原藩の出来事、日々の暮らし及び近国の出来事、江戸幕府との関係を綴った日記である。
『島原藩日記』巻三（貞享） （島原市教育委員会 2011年）島原/219/7/9-293	島原藩の出来事、日々の暮らし及び近国の出来事、江戸幕府との関係を綴った日記である。
『島原藩日記』巻四（元禄） （島原市教育委員会 2012年）島原/219/7/9-293	島原藩の出来事、日々の暮らし及び近国の出来事、江戸幕府との関係を綴った日記である。
『島原藩日記』巻五（元禄Ⅱ） （島原市教育委員会 2013年）島原/219/7/9-293	島原藩の出来事、日々の暮らし及び近国の出来事、江戸幕府との関係を綴った日記である。
『島原藩日記』巻六（元禄Ⅲ） （島原市教育委員会 2014年）島原/219/7/	島原藩の出来事、日々の暮らし及び近国の出来事、江戸幕府との関係を綴った日記である。

☆インターネットを使って調べる

長崎県の公式サイト	http://www.pref.nagasaki.jp
長崎県の公式サイト。県内の文化財についても掲載されている。	
島原市の公式サイト	http://www.city.shimabara.lg.jp
島原市の公式サイト。市内の文化財についても掲載している。	